

2026年6月23日

各位

会社名 株式会社リミックスポイント
代表者名 代表取締役社長 CEO 高橋 由彦
(コード番号：3825)
問合せ先 経営管理部長 安武 明伸
(TEL：03-6303-0280)

需給調整市場参入に関するお知らせ

当社は、当社グループが保有する宮城県仙台市の系統用蓄電所「NC 仙台市青葉区上愛子蓄電所」(以下、「本蓄電所」といいます)が、本日より需給調整市場向けの運用を開始し、当社として初めて需給調整市場に参入しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 需給調整市場参入の背景

本蓄電所は、当社と日本蓄電池株式会社(以下、「日本蓄電池」といいます)が共同で開発を進める全国7か所のうちの1か所です。同施設の保有・運営は、2026年6月11日付のプレスリリース「合同会社 NC パイオニアの連結子会社化に関するお知らせ」にて当社が連結子会社化することを公表した、合同会社 NC パイオニアを通じて行っております。需給調整市場への参入は当初2026年8月頃を予定しておりましたが、想定よりも早く参入体制が整ったことから、計画を前倒しして運用を開始いたしました。

本件は当社にとって初となる需給調整市場への参入案件であり、蓄電池アセットを活用した本格的な収益化フェーズへの移行を意味するものです。

2. 需給調整市場への参入による効果と市場概況

再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、電力需給の変動を調整する調整力(電力網の周波数を安定させるための待機・調整機能)の重要性が高まるなか、系統用蓄電池は、需給調整市場を通じて調整力を提供し、電力系統の安定化に貢献する重要なインフラとして期待されております。

今回の参入により、日本卸電力取引所(JEPX)における電力の売買益を活用した運用に加え、需給調整市場での調整力の提供を通じた運用が可能となり、各市場を組み合わせた最適な運用を行うことで、新たな収益源の獲得と収益の最大化につながります。

当社は、本蓄電所を通じたこれらの取り組みにより、収益機会の多様化と蓄電池事業のさらなる収益拡大を図るとともに、再生可能エネルギーの導入拡大に貢献してまいります。

3. 本蓄電所の概要

施設名	NC 仙台市青葉区上愛子蓄電所
所在地	宮城県仙台市
連系出力	1,998kW
定格容量	8,146kWh
蓄電システム	CATL 製
PCS (パワーコンディショナ)	TMEIC 製

4. 本蓄電所の需給調整市場参入による影響

2026年6月11日付「2027年3月期連結業績予想の公表に関するお知らせ」にて公表している蓄電ソリューション事業のセグメント売上高7,045百万円、セグメント利益1,002百万円には、本蓄電所の需給調整市場参入後の月間の見込売上高約20百万円※を含めております。

※ 現時点の市場取引価格に基づく当社シミュレーションおよびアグリゲーターの実績値等を踏まえた想定値です。市場環境等により変動する可能性があり、実際の収益額を保証するものではありません。

5. 今後の見通し

当社と日本蓄電池が共同で開発を進める他の蓄電所についても本蓄電所と同程度の収益水準を見込んでおります。本蓄電所に加え、熊本県玉名市および福岡県嘉麻市の蓄電所においてもすでに受電を開始しており、いずれも2026年中の需給調整市場への参入を予定しております。

また、本蓄電所は日本卸電力取引所（JEPX）および需給調整市場での運用に加え、2030年から容量市場への参入を予定しております。当社は今後も全国で開発を進める蓄電所の運用開始を順次進めるとともに、JEPX、需給調整市場および容量市場への参加を通じて、継続的な収益創出と企業価値向上に取り組んでまいります。

今後、連結業績に著しい影響が生じる場合には、速やかに開示いたします。

以 上